

市民への市長メッセージ

(令和7年大船渡市大規模林野火災の鎮火宣言について)

はじめに、この度の大規模林野火災により、かけがえのない尊い命と皆様の貴重な財産が失われたことは心痛の極みであり、犠牲となられた方の御霊に謹んで哀悼の誠を捧げるとともに、火災の影響を受けた方々に対しまして、衷心よりお見舞い申し上げます。

去る2月26日に発生した大規模林野火災は、自衛隊、防災航空隊を始め、緊急消防援助隊、県内消防応援隊などの応援部隊に加え、大船渡消防署、市消防団の懸命な消火活動により、3月9日午後5時に鎮圧し、以降、鎮火に向け、上空偵察による熱源調査を始め、地上部隊による入念な残火処理及び警戒活動、総合的調査活動を実施してきました。

これまでの熱源調査や警戒活動において、熱源が確認されず、再燃しない期間が一定期間経過しており、4月7日には、火災範囲全域の鎮火状況を確認するため、防災ヘリによる最終調査を行った結果、再燃の恐れがないと判断したことから、午後5時30分に「鎮火」を宣言いたしました。

いまなお、避難を余儀なくされている方々を始め、市民の多くの方々が不安な時間を過ごされたことかと、お察し申し上げます。

また、市民の皆様におかれましては、長期にわたる消火活動への御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございました。

市としましては、今後、一日でも早く平穏な生活を取り戻すよう、国や県等と連携しながら、火災による影響を受けた方々の暮らしの再建となりわいの再生に最優先に取り組むとともに、引き続き防災関係機関と連携・協力の下、火災予防と災害対応力の強化に努めてまいります。

大船渡市長

清 上 栄